

会場案内図



日本大学工学部工学研究所

〒963-8642
 福島県郡山市田村町徳定字中河原1番地
 TEL.024-956-8648 FAX.024-956-8878
<http://www.ce.nihon-u.ac.jp/ResearchCenter/index.html>
 [E-mail]kenkyu@ao.ce.nihon-u.ac.jp

公益財団法人 郡山地域テクノポリス推進機構
 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

〒963-0115
 福島県郡山市南二丁目52番地(ビッグパレットふくしま3階)
 TEL.024-947-4400 FAX.024-947-4475
<http://www.techno-media.net6.or.jp/> [E-mail]techno@nm.net6.or.jp

PRINTED WITH SOY INK このパンフレットは、環境にやさしい再生紙と大豆インキを使用しています。

第17回

産・学・官 連携フォーラム

続・健全で持続可能な
 ふくしまの実現を目指して
 —新設された3つのフォーラムのこの1年とこれから—

開催日時 平成28年 **11月25日(金)**
 13:15~16:45

会場 日本大学工学部
 50周年記念館(ハットNE)大講堂

- [主催] 日本大学工学部工学研究所, 公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構, 郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会
- [後援] 福島県, 郡山市, 郡山商工会議所, 公益財団法人福島県産業振興センター, 郡山地域テクノポリス市町村協議会, 郡山地域テクノポリス推進協議会, 一般社団法人福島県発明協会, アカデミアコンソーシアムふくしま, 日本貿易振興機構福島貿易情報センター, 日本大学工学部校友会, 株式会社東邦銀行



第17回

産・学・官 連携フォーラム

H28.11.25[金]

続・健全で持続可能なふくしまの実現を目指して
—新設された3つのフォーラムのこの1年とこれから—

開催にあたって

日本大学工学部では、2011年の東日本大震災以前から「ロハスの工学」(健康で持続可能な生活スタイルを実現するための工学)を研究教育方針に掲げ、(公財)郡山地域テクノポリス推進機構との連携により、ロハスな社会を実現するための要素技術の開発と地域貢献を進めてきました。昨年度は、これまでの3つの研究会、すなわち「機能性材料・製造プロセス研究会」(コーディネーター:西出利一)、「医療・福祉機器等関連新事業創出研究会」(コーディネーター:尾股定夫)、「再生可能エネルギー・環境共生推進研究会」(コーディネーター:長林久夫)を刷新し、新たに、「イノベーションテクノロジーフォーラム」(コーディネーター:柿崎隆夫)、「健康医療福祉産業創生フォーラム」(コーディネーター:酒谷薫)、「サステナブル地域づくりフォーラム」(コーディネーター:岩城一郎)という3つのフォーラムを立ち上げました。そして、昨年度の産・学・官連携フォーラムにおいて、これら3つのフォーラムの役割を明示すると共に、相互の連携のあり方について、活発な議論を行いました。

このような経緯を踏まえ、今年度の産・学・官連携フォーラムでは、昨年度議論した内容を風化させず、さらに今後の各フォーラムの活動に活かすため、敢えてその続編として企画することとしました。

はじめに、各フォーラムのコーディネーターに、この1年の活動報告と今後の展望について話題提供をいただきます。次いで、各フォーラムに密接に関わる産あるいは官からお一人ずつ登壇いただき、産・学・官の連携のあり方について話題提供をいただきます。また、昨年度の産・学・官連携フォーラムにおいて、産・学・官に加え、金(金融機関)の連携も必要であるとの指摘を受けたことから、金の立場からも話題提供をいただきます。これらの内容をさらに深化・融合させるため、以上の話題提供者に登壇いただき、パネルディスカッションを展開します。

13:15-13:25 開会挨拶

13:25-14:25 (20分×3人) 各コーディネーターよりこの1年の活動報告と今後に関する話題提供

- 1 サステナブル地域づくりフォーラム
岩城 一郎 (日本大学工学部 土木工学科 教授)
- 2 健康医療福祉産業創生フォーラム
酒谷 薫 (日本大学工学部 電気電子工学科 教授)
- 3 イノベーションテクノロジーフォーラム
柿崎 隆夫 (日本大学工学部 機械工学科 教授)

14:25-14:40 休憩

14:40-14:55 (15分) フォーラムへのメッセージ

- イノベーションテクノロジーフォーラム
「3Dプリンターを梃子に地域から世界へ放つイノベーションを!」
山形大学大学院理工学研究科 教授 古川 英光氏

14:55-15:25 (15分×2人) 各フォーラムの官を代表して話題提供

- 1 サステナブル地域づくりフォーラム
「日本大学工学部と郡山市による下水道事業に関する連携協定について(仮題)」
郡山市下水道部 下水道維持課 課長 大竹 伸裕氏
- 2 健康医療福祉産業創生フォーラム
「郡山市における地域包括ケアの課題と展望(仮題)」
郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課 課長 安藤 博氏

15:25-15:40 (15分) 金融機関を代表して話題提供

- 「すべてを地域のために」~地域活性化に向けた当行の取り組み~
株式会社東邦銀行 法人営業部 部長 渡邊 貴志氏

15:40-16:40 パネルディスカッション

- 「どう応える? 待った無しの産学官連携」
座長 柿崎 隆夫 (日本大学工学部 機械工学科 教授)
パネリスト (上記話題提供者6名)

16:40-16:45 閉会挨拶

